

平成23年 成人式 開催

1月9日 参加者115名

成人の主張

南中学校

卒業生代表

小林 媛さん



本日の成人式に向けて、私たち新成人が実行委員となり、自らの成人式を自らの手で祝うべく企画、準備を進めて来ました。そして今日、私たちのために、お祝いと激励の言葉をいただきまして、小林町長をはじめ来賓の方々、ご出席いただいた皆様にご感謝申し上げます。ありがとうございます。

さて、私たちも二十歳を迎え、すでに就職している人や、学業に励んでいる人など立場は様々ですが、一人ひとりが自分の行動に責任を持って命の尊さを再確認し、社会

の一隅を照らす人間として大きく踏み出します。

私は、高校を卒業後、大学進学のため飯田に転出しました。初めて故郷を離れ、飯田市からあらためて自分のふるさとを見たときに、富士見の豊かな自然や、温もりのある人々の心など、「ふるさとの良さ」があらためてわかるとともに、「ふるさとを誇りに思う気持ち」が心の底からあふれてきました。私たちが生まれ育ち、遊び、学んだ、大好きな富士見を守っていくのも、私たちの使命だと思います。

景気は回復していると言われていますが、地方においては必ずしもそうではありません。それでも私たちは、目標を見失わずに向上心を持って努力し、自分を見失わずに若者らしく一日一日を大切にしながら、社会に貢献できるように努力して参ります。

私たちは本日より大人の仲間入りをいたしますが、今日、こうして集い、成人式を迎えられるのは、私たちを支えてくださった両親や家族、導いてくださった先生方、そして

温かく見守ってくださいました地域の方々、共に歩んだ仲間たちのおかげです。

この感謝の気持ちを忘れず、成人としての決意を忘れず、力強く、やさしく、たくましく生きていくことを誓います。

最後に、大人として何も分らない私達に、今後とも良きご指導をくださいますように、宜しくお願ひ申し上げ、成人の主張とさせていただきます。

◇ ◇ ◇

富士見高原中学校

卒業生代表

山口陽平さん



僕たちも無事二十歳を迎えることができました。今日この日を迎えることができたのも、両親や家族、友人、先生方など、今まで僕にかかわってくれたすべての人々のおかげだと思っています。

二十歳になつて変わったことは、堂々とお酒が

飲めるようになったこと、堂々とタバコが吸えるようになったこと、親の許可を得なくても様々な契約が結べるようになったこと、選挙権を得たこと、くらいでしょうか。お酒が堂々と飲めるようになって、飲みすぎに気をつけてなければなりません。

タバコが堂々と吸えるようになって、タバコを吸うと肺がんのリスクが高まるので、僕は吸いたくありません。

二十歳という年は、法律上ではさまざまな変化があります。僕自身は二十歳になってガラッと何かが変わったという感じはありませんでした。ただ、二十歳になって思うことは、富士見に生まれ育つことができて良かったと言っています。

富士見町は、良くいえば自然豊かな、普通に言うところの山ふもとの田舎です。電車は一時間に一本しかなく、買い物をするスーパーは、西友と農協くらいしかありません。でも、この富士見にはかけがえない仲間がいます。いつ帰ってきてても、どんな話も聞いてくれる大切な仲間です。また、つらい

時も楽しい時も僕を支えてくれた家族もいます。

一人暮らしをするようになって、家族の温かき、ありがたさは身にしみるほどわかるようになりました。家族や仲間には本当に感謝しています。そして僕は、思い出がいっぱい詰まったこの富士見町が大好きです。この町に生まれて本当に良かったと思っています。

まだまだ長い人生の途中で、これから就職や結婚をしてどこの地で生活していくかはわかりませんが、どこに行っても富士見が故郷なことには変わりありません。こんな素敵な町が故郷で僕は幸せです。富士見町万歳！



成人式 小・中学校時代の恩師
メモリアルトークより



はやし とおる
林 徹先生
(境小学校恩師)

純粹無垢だった君たち、自然に囲まれた境小、そして富士見町が大好きで、当時の職員は毎年1回「山桜の会」を開き、集まっています。

2011年卯年にめでたく成人を迎えた富士見町の成人のみなさん、これからの日本を君たちに任せます。よろしくお祈りします。

くす だ しん や
楠田 真也先生
(落合小学校恩師)

落合小は第二の故郷。私の教員生活の基盤です。

和太鼓に取り組み、私の結婚式でも披露してくれたことは思い出深いです。成人となったみなさんとは、大人だから話せることもあるでしょう。自分を好きになって、周りの人のために働ける人になってください。



あん どう まさ かず
安藤 昌和先生
(富士見高原中学校恩師)

「こうなりたい」という気持ちを持ち続けることができれば、必ずなれる。私も今、追いかけていることがあります。

君たちの年から目指せば、もっと叶えられる。今持っている熱いものを大切にして、叶ったときの笑顔を見せに来ててください。

かさ い
笠井 みゆき先生
(富士見高原中学校恩師)

「慎独（しんどく）」ひとりを慎む。2年生のはじめごろ、教室の前に貼ってあった言葉です。

誰が見ていても、見ていなくても、やるべきことを陰日向なく淡々と行う。そんな人であってください。



境保育園(名取仁美園長 園児64名)では、保育園で育てる野菜や、お家のお米がたくさん採れますように、などの願いをこめて、まゆ玉をつくりました。園児たちは黙々と手を動かし、たくさんのまゆ玉ができました。

1月13日 境保育園まゆ玉づくり

いろいろな形ができたね



第3分団では、切り出した青竹で、1日かけて、出初式で使用する梯子をつくりました。団員の和やかな協力で作業は順調に進み、年末年始の練習を経て、1月9日の出初式では立派な技を披露しました。

12月19日 木之間区公民館

第3分団
力を合わせて梯子づくり



1月18日 富士見高校

この冬の気温は？

富士見高校園芸科では、敷地内の計測器で1980(昭和55)年2月から毎日、気温を計測しています。1月1日から17日までの最高気温は8日の5℃、最低気温は17日の-12℃でした。まだまだ寒い日が続きます。



1月7日 J A会館ふじみ

初区長会

町理事者・課長と区長・集落組合長による初区長会では、町長から「景気は好転の兆しでパノラマの年末年始の動員も順調だが、人口は減少の見込み。独身者が結婚できるようご協力を」と挨拶がありました。